

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

先生のお話を聞いたあと、「あれ、何をもってくるんだったかな。」と、こまったことはありませんか。聞いたことは、しばらくすると、わすれてしまうことがあります。そんなときにやくに立つのが、メモです。

メモとは、大切なことを、みじかく書いておくことです。ぜんぶを書かなくてもかまいません。「あした 絵のぐ」「月曜日 図書の本」のように、あとで見

て分かることだけを書きます。
メモをとると、よいことが二つあります。一つ目は、わすれても、メモを見れば思い出せることです。二つ目は、書くときに「何が大切な」を考えるので、話がよく分かるようになることです。

メモは、いつも同じ手ちょうに書くようにしましょう。そうすると、あとでさがしやすくなります。

聞いたことを、自分の手で書いてのこす。それだけで、わすれものは、ぐん

(このもんだいのための書きおろし)

(一) メモとは、どんなことですか。「こと」につづくように、文しょうから二十字まで書きぬきましょう。

く	大
	切
	な
	こ
	と
	を
	、
	み
	じ
	か
	く
	書
	い
	て
	お

(二) メモには、どんなことを書けばよいと書いてありますか。ア～ウから一つえらびましょう。

- ア 先生の話、を、ぜんぶ書く。
イ あとで見て分かることだけを書く。
ウ 自分のすきな絵をかく。

イ

(三) メモをとると、よいことが二つあります。二つとも、三十五字まで書きま

と	と	わ
。	、	す
	話	れ
	が	て
	よ	も
	く	見
	分	れ
	か	ば
	る	思
	よ	い
	う	出
	に	せ
	な	る
	る	こ
	こ	と

(四) メモをいつも同じ手ちょうに書くと、どうなりますか。「なります」につづくように、文しょうから十字まで書きぬきましょう。

あ
と
で
さ
が
し
や
す
く

【小2】国語 文章問題 説明文 2 答えと解説

問一（二十五点） 答え：大切なことを、みじかく書いておく

解説：二つ目のまとまりの最初の文から。

問二（二十五点） 答え：イ

解説：二つ目のまとまりの最後の文から。アは「ぜんぶを書かなくてもかまいません」とある。

問三（二十五点） 答えの例：わすれても見れば思い出せることと、話がよく分かるようになること。

解説：三つ目のまとまりから。二つとも書けていれば正かい。一つなら半分。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①わすれても、メモを見れば思い出せる

②書くときに考えるので、話がよく分かるようになる

問四（二十五点） 答え：あとでさがしやすく

解説：四つ目のまとまりから。